

平成 25 年 9 月 5 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長 田代 宗雄
(コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 執行役員 横山 幸弘
(TEL 03 - 6225 - 2207)

Group Lease PCL.が KUBOTA と業務提携を発表 ～カンボジアでの農業機器へのファイナンスへ進出～

当社グループの連結子会社で、東南アジアにおいてオートバイファイナンスを行なう Group Lease PCL. (以下 G L) は平成 25 年 9 月 5 日タイ証券取引所にて記者会見を行い、タイ国内で農業機器を扱うリーディングカンパニーである SIAM KUBOTA Co.,Ltd. (以下、S K C) との業務提携に合意、同日正式に調印を行なったことを発表しました。両社は双方の子会社を通じて、カンボジア王国内におけるファイナンスサービスの普及を推進することで、同国におけるトラクター等の農業機器の販売を一層促進することとしています。



G Lはカンボジアにおいて「最初のそして唯一のリース会社」として既に活動を開始しておりますことは皆様にお知らせしている通りです。近年、カンボジア王国は飛躍的な経済発展を遂げております。世界遺産アンコールワットで有名なアンコール朝が豊かな農業生産力を基盤に東南アジア全域を支配する帝国を築き上げたことにも見られるように、安定した気候、国際河川メコン川や東南アジア最大の湖、トレンサップ湖など水も豊富であり、広大な平野を持つカンボジア王国は元来、世界有数の農業適地です。近年においては農産物の価格上昇によって、農村住民の所得水準が向上しています。

今後、意欲的な生産農家に対して農業機械がスムーズに導入されることで、農業生産性の向上、農家の所得向上など、同国の一層の経済発展に寄与することが期待されます。世界的に不足すると言わ

れる穀物生産など農業の生産性の向上によって、カンボジア王国の経済発展が加速されます。しかしながら内戦終了から20年しかたっていない現在のカンボジアでは農業の機械化が進んでおらず、今後、農業機械への大きな需要が見込まれます。

タイをはじめ ASEAN 地域における農業機械のリーディングカンパニーとして SKC は、各国での事業の強化を進めておりカンボジアにおいても新たに子会社を設立し市場の拡大に取り組むことを発表しております。

一方、GL は子会社を通じてカンボジアにおいてカンボジア中央銀行（National Bank of Cambodia 以下 NBC）より同国最初で唯一のファイナンシャル・リーシングライセンスを付与されており、全国に営業ネットワークを拡大しております。

この度の提携は両社の強みを活かして積極的な協力をはかり、カンボジアにおける農業機械の導入にファイナンスという新たな手段を提供することで、新市場での売上拡大とカンボジアの草の根経済の発展を強力に推進することを意図し両社は提携にいたっております。

※ご参考：株式会社クボタ様ニュースリリース

「カンボジアおよびラオスの農業機械販売強化について」

<http://www.kubota.co.jp/new/2013/130823j.html>

以 上